

分野3：外交を支える情報防護体制の強化

中期目標

国際情勢の複雑化及び情報通信ネットワークの高度化に伴い、情報の重要性及び情報防護上の脅威が増大している現状に対応すべく、規則類の整備、研修の強化、技能の向上、関係部署との連携強化等、情報漏えい防止のための取組を一層強化する。

過去3年度（令和4～6年度）の主な成果	課題及び今後の方向性
1 【省員の情報防護意識の向上】 ● 省員に対する意識啓発をより効果的に実施することを目的として、秘密情報の適切な管理を徹底するため、本省全課室及び全在外公館において秘密保全に関する点検及び同点検を踏まえた立入検査を継続的に実施した結果、本省・在外ともに実施率が向上し、省員の情報防護意識が向上した。 2 【研修機会の多角化】 ● 省員が自身のタイミングで情報防護研修を受けられるようイントラネットに情報防護研修動画を掲載した結果、省員の情報防護に関する知識の定着が実現するとともに、対面講義から発生する行政コストを抑えることができた。 ● 情報防護上の対策の必要性が高い公館に赴任する省員が研修を受けずに赴任することがないよう、該当省員の赴任先把握を徹底したことにより、赴任先での危険行動の抑止につながった。 3 【情報防護上の脅威に係る現状把握】 ● 日本の直面する情報防護上の脅威に係る現状を把握することを目的として、関連情報収集のための取組を一層強化し、国内外で関連情報の収集を進め、情報防護上の脅威を分析・評価するための基礎資料の充実を図るとともに、脅威に対処するための具体的な対策の立案を行ったことにより、各種事案発生を抑止力が強化された。	1 【省員の情報防護意識の向上】 ● 秘密情報の適切な管理を徹底するためには、全職員に対する意識啓発をより効果的に実施することが欠かせないが、秘密保全に関する点検の取組により、省員の情報防護意識が向上していることから、引き続き、同点検を実施していく。 2 【研修機会の多角化】 ● 対面のみでしか受講できなかった情報防護研修をオンライン化により、情報防護に関する知識の定着及び行政コスト削減の両面を達成したことから、引き続き、本取組を継続実施していく。 ● 赴任先での省員による危険行動の抑止のためにも、情報防護上の対策の必要性が高い公館に赴任する職員への研修は必要不可欠であり、引き続き遺漏無き対応を実施する。 3 【情報防護上の脅威に係る現状把握】 ● 情報防護対策の実施において、脅威の把握は必要不可欠であるところ、引き続き、同様の対応を継続していく。